



“きらり まちなかアート” 障害のある若者が地域社会とつながる

南奈良総合医療センターで常設展示スタート！

12/15 南奈良総合医療センター（吉野郡大淀町福神） 【主催】NPO法人ならチャレンジド



堀口陽子看護部長（左）、杉山孝南和広域医療企業団企業長（中央）、松本昌美院長（右）

【作品】「希望の花」	今西芽さん	（19歳、天川村）
「色とりどりの野菜たち」	上東芳暢さん	（18歳、五條市）
「招杜羅大将」	井上真介さん	（31歳、宇陀市）
【場所】4階、5階病棟エレベータホール *感染症対策で外部から見学できません		

患者さん、医療スタッフと障害のある若者の交流を願い、新たに南和地域の拠点として南奈良総合医療センター（大淀町）で“きらり まちなかアート”が始まりました。当医療センターは職場実習を積極的に行ない、現在、高等養護学校卒業生2名が看護補助業務に就労し活躍しています。

杉山孝南和広域医療企業団企業長、松本昌美南奈良総合医療センター院長、堀口陽子看護部長らは3名の作者をあたたく迎え入れ、きらりまちなかアートのスタート式が行われました。

杉山企業長は「この病院をはじめ3病院で障害のある先輩が働いています。絵の展示を通じて、患者さんに喜んでいただき、地域社会の理解が深まるように願っています」。松本院長は「患者さんの癒しになることを期待しています。コロナ最前線でがんばっている我々職員の励みになればと思います」と、ご挨拶されました。

今西芽さん、上東芳暢さん、井上真介さんはそれぞれ作品の説明を行ない、その後、杉山企業長、松本院長、堀口看護部長らと懇談し交流を深めました。

県立大淀養護学校長、県教育委員会特別支援教育推進室指導主事も同席されました。

中西和夫斑鳩町長表敬訪問

～第41回アビリンピック銅賞を報告～

【訪問者】富岡翔選手（県立高等養護学校3年）

2月8日、富岡翔選手は地元・斑鳩町役場に中西和夫町長を表敬訪問し、銅賞受賞を報告しました。

祝 富岡翔選手（県立高等養護学校3年）銅賞！

～第41回アビリンピック ビルクリーニング種目～ 1/17 県立高

